

笑顔で語りかける長尾さん



知ってほしい「平穏死」と「自己決定」

◎鬼北の医療と介護の未来を考える講演会

「第4回鬼北の医療と介護の未来を考える講演会」は2月15日、近永公民館講堂で開催されました。

兵庫県の長尾クリニク院長である長尾和宏氏を講師に、「がんと認知症の平穏死」と題して講演。自らの経験をもとに、「平穏死」を迎えるために、自分の治療は自分で決める「自己決定」の大切さ、そして「死を待つこと」「治療の引き際」の必要性を訴えました。

また、「認知症」をプラスの視点から捉えるなど、その独特の観点と軽快な口調に引き込まれ、来場者らは真剣な表情で聞き入っていました。

西村校長と上口さん(右)と岩本さん(左)



全国大会出場の功績が認められ

◎日吉中学校大亀財団スポーツ賞受賞

2月13日、「大亀財団スポーツ賞」の表彰式が松山市のダイキ本社で行われ、鬼北町立日吉中学校が「菜の花賞」を受賞しました。

この「菜の花賞」は、愛媛県内で選手育成に功績のあった団体等に贈られるもので、日吉中学校は男子ソフトテニス部の全国大会出場の功績が認められての受賞となりました。

男子ソフトテニス部の上口涼平キャプテンは「皆さんの活躍のおかげで素晴らしい賞が取れたことを誇りに思う」と語り、また、岩本正男副キャプテンは「これからももっと盛り上げていきたい」と意気込みを新たにしていました。

会員らが華やかな踊りを披露



来場者の「願い」受け、花とび踊り奉納

◎節安花とび踊り

2月16日、節安薬師堂「父野川上」で、「節安花とび踊り」の奉納が行われました。

伝説によると戦国の頃より受け継がれてきたと言われる「節安花とび踊り」。安産、家内安全や地区の安泰を祈願して奉納されるもので、町の無形民俗文化財に指定されています。

今年22人が、願解き、安産祈願、授かり祈願と、それぞれの願いを持って節安薬師堂を参拝。それぞれの願いのために、そして集まった人たちの家内安全を祈願して、保存会会員らが力強く、そして思いの込められた舞を何度も披露していました。

人権の大切さを訴える宮川さん



「人権」は守られなければいけない

◎鬼北町人権を考える集い

「鬼北町人権を考える集い」は2月16日、広見体育センターで開催されました。

講師である宇和島市出身キャスターの宮川俊二氏は、「キャスターから見た人権」と題して、テレビ番組や誤認逮捕等を例に挙げながら、人権への配慮が欠けた放送に対する懸念や危惧を、報道の問題点として提起。

また、「人権とは困っている人を助けなければいけないもの」と話し、「ニュースで伝えることに大義があるかどうかが重要」と、過剰報道による人権被害の深刻さを訴えました。